

CIVI 方式 3 次元テレビジョンシステムの構築と遠隔操作への応用（平成 22～24 年度）			
予算適正執行の評価	37 点(50 点満点)	研究実効性の評価	33 点(50 点満点)
<p>(コメント)</p> <p>(評価者 1)</p> <p>「CIVI 方式 3 次元テレビジョンシステムの構築と遠隔操作への応用」に関する成果報告と実際の技術を拝見し、3 次元テレビジョンシステムの構築の難しさ、遠隔操作への応用の大変さがわかった。予算執行は適性であったと評価する。また、本研究はまだ途中の段階で、今後研究を重ねることで、さらに発展する可能性があるため、研究実効性も高いと評価した。(上記と重複する内容であるが、専門家の評価であれば予算適正執行と研究実効性ととも異なる点数であったかもしれないが、専門外のため今回の評点とさせてもらった。)</p> <p>(評価者 2)</p> <p>研究計画に即した研究の遂行という面では、多少の紆余曲折があるとしても、問題ないレベルであると認められる。ただし、「研究期間終了後 6 ヶ月以内に、研究プロジェクトの成果を記した研究報告書を協会ホームページで公開するとともに、言論責任保証協会会員およびメディア情報検証学術研究会有料参加者全員に研究費獲得時の申請書を配布する。」との説明に対しては、協会ホームページで公開が未対応であるなど、課題も残っている。また、実効性の評価としては、何を以て「実効性」が満たされているかを、研究者と評価者との間で共通認識として持つ必要もあり、この点についても今後の課題と思われる。</p> <p>(評価者 3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔操作まで踏み込むことができなかったことが、評価が低い原因。 ・ Kinect 等比較的安価な機器を組み込むことはとても好印象。 ・ 評価は極めて直感的にしかつけることができない。 <p>(別にそれでいいと思っている。)</p>			